

SNET台湾とは

SNET台湾(日本台湾修学旅行支援研究者ネットワーク)は、台湾で実施する修学旅行をより充実させたい学校と、学術研究の成果を社会に還元したい台湾研究者を結びつけるプラットフォームです。台湾は、その複雑で重層的な歴史が日本史・世界史理解を深めるだけでなく、ジェンダー平等、性的少数者、移民、ダイバーシティ、若者の政治参加、人権、環境、エネルギー問題など、日本が直面する諸課題に早くから向き合ってきた社会として、“今”を学ぶ機会が豊富にあります。“隣人”である台湾を知ろうと試みることで、異なる価値に出会い、新しい世界を拓く喜びを体験できるように、SNET台湾は、台湾地域研究の知見の蓄積をもって全力でサポートいたします。

台湾修学旅行の現状

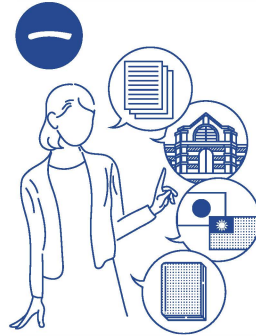
台湾は、海外修学旅行先ランキングで2014年度以降連続1位となっています。全国修学旅行研究協会の調査によれば、2018年度に海外修学旅行を実施した高校は全国で962校、生徒数は168,881人に上りました。なかでも台湾を修学旅行先にした高校は357校、生徒数は57,540人で、海外修学旅行参加者の約三分の一が台湾を訪れています。しかし、この空前の“台湾修学旅行ブーム”は深刻な問題と隣り合わせにあります。日本の教科書の台湾に関する記述は限定的であり、台湾修学旅行に関する教育資源、専門的サポートが不足しています。企画、事前学習、旅行実施、事後指導に至る一貫した教育理念に基づく設計が難しく、物見遊山に終わってしまうケースが少なくないのです。



日本台湾 修学旅行 支援研究者ネットワーク

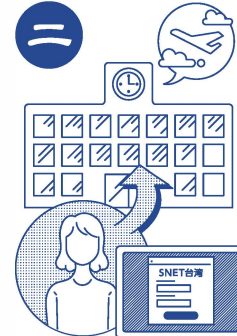


活動内容



一 修学旅行の 計画設計への助言

学校関係者、旅行業者等を対象に、台湾での修学旅行・研修旅行の教育的意義を深めるべく、事前・事後学習、旅程の計画設計に対して台湾研究者の観点から助言します。



二 事前・事後学習への 台湾研究者の派遣

修学旅行・研修旅行で台湾に赴く学校に対し、事前・事後学習を指導できる日本台湾学会員を講師として紹介、派遣します。講師依頼は、SNET台湾のウェブサイト専用フォームから。



三 ウェブ教材の作成と運営、 関連書籍等の編集

台湾各地のスポットについて教育的意義を専門的に解説し、テーマやエリア等の諸条件と関連づけながらルートを立案できるウェブ教材「台湾修学旅行ナビ」を作成し運営します。独自の教材開発も行います。



四 ワークショップ・ 公開講座等の開催

学校関係者、旅行業者、修学旅行生の保護者等、台湾修学旅行に関係するみなさまと広く課題を共有するため、ワークショップや公開講座を開催します。



五 台湾の関係機関や 研究者との連携

台湾の中央政府や地方政府、文化施設、NPO、また台湾の台湾研究者と必要に応じて連携し、最新の知見を踏まえ、現地での活動がより充実したものとなるように努めます。

共同代表

赤松美和子(大妻女子大学)
洪郁如(一橋大学)
山崎直也(帝京大学)

協力団体

日本台湾学会
一般財団法人台湾協会
台北駐日経済文化代表処教育組
早稲田大学台湾研究所

顧問

若林正文(早稲田大学)

連絡先

〒192-0395
東京都八王子市大塚359帝京大学
外国語学部 山崎直也研究室気付
snet.taiwan@gmail.com

ご支援のお願い SNET台湾は皆様のご支援のもとに運営しております。SNET台湾の趣旨に賛同し、活動をご支援いただける方は、SNET台湾寄付申込フォーム(SNET台湾公式ウェブページ)にてご登録の上、以下のSNET台湾の口座にお振込みください。ご支援くださった皆様には、ご希望に応じ、御芳名をウェブサイトに掲載させていただくとともに、当該年度のSNET台湾の年度活動報告書を送付させていただきます。

銀行名: きらぼし銀行(金融機関: 0137) 支店名: 西大久保支店(店番号: 043)
口座番号: (普通) 5035294 口座名義: エスネットタイワン

https://twitter.com/snet_taiwan

<https://www.facebook.com/snet.taiwan/>

SNET台湾公式ウェブページ
<http://www.snet-taiwan.jp/>

